

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)

【公開番号】特開 2005-41052 (P2005-41052A)
 【公開日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-007
 【出願番号】特願 2003-201749 (P2003-201749)
 【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 2/045
 B 4 1 J 2/055
 H 0 1 L 41/09
 H 0 1 L 41/187
 H 0 1 L 41/22

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A
 H 0 1 L 41/08 L
 H 0 1 L 41/18 1 0 1 B
 H 0 1 L 41/18 1 0 1 D
 H 0 1 L 41/22 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 3 月 29 日 (2005.3.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

積層された複数の圧電セラミック層と、これらの圧電セラミック層の間に形成された少なくとも 1 層の共通電極と、最上層の前記圧電セラミック層の表面に配列された複数の個別電極と、前記個別電極と同一面上に設けられかつ前記共通電極に接続された引出電極とを備えた圧電アクチュエータであって、前記個別電極が、圧電駆動に寄与する駆動部とこの駆動部の一端に接続された駆動電圧印加用のランド部とを備え、かつ前記引出電極を、前記個別電極の集合体を介して対向するように設けてなることを特徴とする圧電アクチュエータ。

【請求項 2】

隣設する個別電極のランド部の間隔が 4 m m 以下であることを特徴とする請求項 1 記載の圧電アクチュエータ。

【請求項 3】

引出電極の面積は、個別電極のランド部の面積よりも大きいことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の圧電アクチュエータ。

【請求項 4】

ランド部と引出電極の厚みが実質的に同一厚みであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうちいずれかに記載の圧電アクチュエータ。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のうちいずれかに記載の圧電アクチュエータと、該圧電アクチュエータの引出電極及び個別電極のランド部に接続されたフレキシブルフラットケーブルと、インク吐出口を有する複数のインク流路が設けられ、このインク流路と前記個別電極との位置を

揃えて、前記圧電アクチュエータの最下層の圧電セラミック層に取り付けられた流路部材とを具備することを特徴とするインクジェット記録ヘッド。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４４

【補正方法】削除

【補正の内容】